

ブータンの賢者に学ぶしあわせの実践学

GNH（国民総幸福量）の追求を政策の中心に据えた国づくりを進めるブータン王国。世界が注目するしあわせの国においてGNHの理念をカタチにする実践活動を行う賢者をゲストに迎え、個人や社会のしあわせのありかたについて考えます。

日時：11月13日（月）13:00～14:30

場所：武蔵野大学有明キャンパス4号館303室

【挨拶】

西本 照真（武蔵野大学学長、しあわせ研究所長） 10分
『武蔵野大学の取り組み ～世界の幸せをカタチにする～』

【講演】

ネテン・ザンモ 30分

『GNH（国民総幸福）を実現する草の根のローカルな取り組み』

ツェリン・ドルジ 15分

『地域コミュニティ運動とエンゲージド・ブディズム（社会参画する仏教）』

【フロアを交えたトーク】30分

ネテン・ザンモ、ツェリン・ドルジ、明石修、鳥谷部愛（コーディネーター）

『しあわせの実践学 ～しあわせをどうカタチにするか？～』



ネテン・ザンモ Neten Zangmo

ブータン政府反汚職委員会の元委員長。30年近くにわたる公職を2015年に退いた後、ブータン東南部にある彼女の生まれ故郷に戻り、ローカル経済のプロジェクトであるSJI（サムドゥルップ・ジョンカー・イニシアティブ）を立ち上げた。ブータンの国是であるGNH（国民総幸福）の考え方を、村落コミュニティから草の根で具現化することに情熱を注いでいる。



ツェリン・ドルジ

1980年生まれ。16歳より、僧侶になる夢を叶えるべく出家。ブータン西南部にある、高僧Dzongsar Jamyang Khyentse Norbuが運営するChyoki Gyatso Institute (CGI)にて、修練を積んで現在に至る。CGIでは、仏門の探求のみでなく、Dzongsar氏が始めた草の根の市民運動、Samdrup Jongkhar Initiative (SJI) (www.sji.bt)も支援している。SJIでは、ブータンの前国王が提唱した「国民総幸福（GNH）」に着想を得たオルタナティブ教育モデルを実施している。ここでは、学びは喜びに満ち、暮らしに直結している。SJIは、地域コミュニティや外部からの訪問者にとって、廃棄物削減モデルとして、さらに地域に根づく知識や伝統を蓄積する場として、インスピレーションを提供する場となっている。ツェリン氏もSJIの活動に参加しており、エンゲージド・ブディズム（社会参画する仏教）の一環として、持続可能なコミュニティ開発に積極的に携わっていきたいと考えている。



主催：武蔵野大学しあわせ研究所

問い合わせ先：o_akashi@musashino-u.ac.jp

（武蔵野大学しあわせ研究所 明石修）

入場無料、事前申し込み不要、逐次通訳あり

●武蔵野大学有明キャンパス

東京都江東区有明3-3-3

（最寄り駅 国際展示場駅または国際展示場正門駅）

交通アクセス <https://www.musashino-u.ac.jp/ariake/>

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University E.F.

学校法人 武蔵野大学